

6月の園だより

回覧

令和8年5月29日（金） 羽茂こども園
副園長 吉田 歩

春の全盛を迎えて草花が生き生きとし始め、鳥たちは日々歌うように鳴き、心地よさを感じる季節となりました。それとともに初夏のような気温の上昇もあり、すっきりしない天気の日もちらほらと。せっかくの春遠足は、あいにくの雨でしたが、最近雨天でも外の様子を見てレインコートなどを身に付け、雨を楽しむ子ども達の姿も見られます。これから雨期に入りますが、様々な自然を全身で楽しみ、豊かな感性を育てていきたいと思ひます。

5月12日には農協女性部のみなさんと一緒にサツマイモの苗植えを行いました。大きなお芋が育ちますように。女性部のみなさん、いつもありがとうございます。

6月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
1日	月	衣替え	全園児
4日	木	行事食	全園児
6日	土	第1回環境整備作業（保護者会）	とき・きじ組保護者
15日	月	羽茂まつり（4・5歳児参加）	とき・かわせみ組
19日	金	羽茂小学校6年生来園交流 / 誕生日給食 / 育児相談会	全園児 / 全園児
26日	金	布団の手入れ	全園児
27日	土	羽茂こども園グランドフェスタ（運動会）	全園児

※身体測定の日程につきましては、アプリ コドモンのカレンダーよりご確認ください。
※中程度の地震を想定した避難訓練を実施します。

7月の主な行事予定...・8日(水)～10日(金)保育参観



- ・17日(金)、18日(土)おとまり会(5歳児)
- ・21日(火)～24日(金)個別懇談会

※7月の保育参観は、3日間開催のうち、いずれか1日に参観に来ていただくという形を考えています。詳細については後日お知らせいたします。

教育実習

下記の日程で、学生が教育実習で来園します。たくさん遊んで楽しみたいと思います。

<教育実習>

日程：6月1日～6月12日

新潟青陵大学短期大学部 2年生

<教育実習>

日程：6月8日～7月3日

新潟こども医療専門学校 2年生

春遠足の様子



新しい友だちを紹介します

〇6月22日より入園します。

〇歳児 ひよこ組 1名

よろしくおひいきします。



運動会→羽茂こども園グランドフェスタ

6月27日に「羽茂こども園グランドフェスタ」を開催します。例年、「運動会」として開催していましたが、今まで以上に地域とのつながりを深めていきたいという願いから、羽茂地区に馴染みの深い「グランドフェスタ」の名称をお借りすることにしました。新生運動会である「羽茂こども園グランドフェスタ」では、大勢の地域のみなさんにご参加いただけるよう年齢に関係なく参加していただける種目を考えています。みなさんぜひふるってご参加ください。

*羽茂こども園では、今後も「グランドフェスタ」のように子ども達を囲む地域の力強さ、羽茂の温かさを感じることでできる取り組みを行い、地域のみなさんとのつながりを深めていきたいと考えています。

保育園留学園児の紹介

5月に留学に来た人たちは、初日から園児と一緒に遊んだり、会話が弾んだり、充実した1週間を過ごしていました。子ども達の距離の縮まり方、受け入れる側のおおらかさ、生活の仕方を自然と教えたりする姿など、子ども達の素敵なおところが幾度となく見られ、嬉しく思ひました。

来月もどのような出会い、つながりが生まれるのか今からとても楽しみです。



6月1日～6月5日
5歳児1名
3歳児1名
(きょうだい)

6月15日～6月19日
3歳児1名

羽茂まつり

6月15日(月)に開催される羽茂まつりに、羽茂こども園のとき組・かわせみ組の子ども達が、踊り「ヤーレン！ソーラン・ロック」で参加します。

晴天の場合は羽茂商工会前の通り、雨天の場合は羽茂小学校体育館が会場となります。時間等詳細については、別途コドモンでお知らせを配信しますので、ご確認ください。

当日は、ぜひ会場まで足を運んでいただき、ドキドキワクワクしながら踊りを楽しむ子ども達の姿をご覧ください。



交通安全教室

今年度も警察官の方々に横断歩道の渡り方を中心に交通安全、交通ルールなどについて、教えていただきました。日頃から交通ルールについて子ども達と確かめたり、慎重に散歩等に出かけたりしていますが、今回のように交通ルールを再確認していくことで、これからも正しく安全に生活していけるようにしていきたいと思ひます。



また、近年バス車内での置き去り事故や走行中の交通事故なども全国で発生しています。園児の安全を守るため、今一度バスの運転手と添乗員と一緒にバスの運行、降ろし忘れ防止などについて研修を行いました。これからも安全第一にバスの運行をしていくよう心がけていきます。

裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらも合わせてご覧ください。



「はもちのほいく」 No.2

令和8年5月29日
園長 石木 むつみ

今月の1枚

心地よい風が吹く5月に入ったと思ったのも束の間、初夏を思わせるような暑さの日が続いています。

先週、今年度初めての保育園留学園児を迎え、子ども達と楽しい時間を過ごしました。園庭で子ども達が楽しんでいた“流しそうめん遊び”（雨樋にそうめんに見立てたスギナを水で流す遊び）の中で、スギナそうめんを受けるたらいを「そうめんのごみ箱みたい」と表現するAさんの言葉が笑いのツボを刺激したようで、なかなか笑いが止まらない留学園児。

たった数日でこんなにも関わり合い、心が通じ合う子ども達の力の凄さを見た瞬間でした。

心が動く環境を目指して

乳幼児期の教育は「環境を通して行うもの」です。私たち保育者の教科書というべき「認定こども園 教育・保育要領」の第1章「総則」の第1節には「環境を通して行う教育および保育が基本となる」とはっきりと明示されています。すなわち、「学習」と呼ばれるもののように、教え込むのではなく、子どもを取り巻く「人や場所、物」などの環境を私たち保育者が意図的に整え、子どもが自ら興味を持ち、環境に働きかけて遊ぶ中で、主体的に学び育つことを促すことが、私たち保育者の大切な役割であるとも言えます。

冒頭少し難しいことを書きましたが、教育・保育にとって大切な環境はいつも同じとは限りません。子ども達の姿から、環境を変えていく必要があります。私たち保育者は、子どもが今何に興味を持っているかを共に過ごす中で見て、感じて、さらに興味を深めていくための環境を整える必要があるということです。

羽茂こども園では、定期的にクラスミーティングを行い、園長・副園長・担任とで話し合い、保育室の環境を見直しています。加えて、今年度、新たに变えた園内・園庭の環境について、今月号の「はもちのほいく」でお伝えしたいと思います。

心が落ち着く絵本コーナー

子ども達が、毎日の生活の中で絵本に触れ、ゆったりとした時間を過ごせる空間になることはもちろん、送迎時に絵本を読んだり、借りたりする親子の安らぎの時間になることを願い、今年度より玄関に絵本コーナーを設置しています。

5月11日より開始した絵本の貸し出しですが、子どもの「これ借りたい!」の声で、絵本を借りる親子の姿が多く見られるようになってきました。

「どれにしようかな」と一緒に絵本を選ぶ子どもとお家の方とのやりとりや、その後ろ姿を見ているとなんだかほっこりとした温かい気持ちになります。また、この空間で絵本を読む、子ども同士や子どもと保育者からも柔らかな雰囲気伝わってきます。

絵本の世界を十分に味わい、心と心がつながる時間となっているようです。



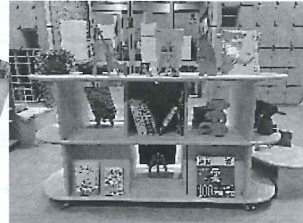
「流しそうめん(スギナ)遊び」
たくさん子ども達が自然と集まり、どんどんアイデアを出し合い、遊びを発展させています。留学初日の新しい友だちを自然に受け入れ遊ぶ子ども達でした。



「そうめんのごみ箱」に流れ込むスギナそうめんを
ままごとのごちそうにして遊ぶ子ども達。
子ども達にとって、自然物は大切な遊び道具です。



483ページに及ぶ教育保育要領の中には、幼児教育の基本が詰まっています。



NEW !!

保護者の方向けの育児本コーナーを新設しました。
是非ご活用ください!



ワクワクする園庭を目指して ～心を癒すビオトープ～

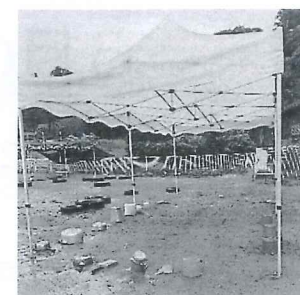
わが園の園庭は広く、走ったり、ストライダーに乗ったりするにはとても好ましい環境ですが、探究したり、遊びを深めたりする環境という視点や、子ども達がのんびりホッと気持ちを休めたい環境という視点から考えてみると、改造が必要なのではと、以前より職員間で話し合ってきました。

そこで、園庭改造第1弾として、ビオトープ作りに着手しました。中にはメダカや子ども達が散歩で捕まえたオタマジャクシやどじょうが泳いでいます。時々、どこからかアメンボも飛んできて、園庭で遊んでいる子ども達は興味津々!走ったり、ストライダーで遊んだりした後に、一休みがてら観察する姿もあり、子ども達の憩いの場となっています。

夕方、お迎えに来たお家の方からも「癒されるなあ。これいいですね。」など、嬉しい感想もいただき、私たち職員も嬉しくなりました。

雨の日の園庭

レインコートを着たり、傘をさしたりして、園庭に出た子ども達は、鍋やバケツを置いて、テントから落ちる雨だれの音を楽しんでいます。材質によっての音の違いの不思議さに気づいていました。



中庭での場作り



捕まえたカエルを放してみると、気持ちよさそうに泳いだ後、石の上でひなたぼっこ。観察する子ども達の目はキラキラ輝いていました。

場づくりすることで、イメージを共有して遊び込んでいます。自然物を上手く遊びに取り入れ遊ぶ子ども達。すり鉢で草や葉っぱをすり、ジュースやごちそう作りを楽しんでいました。



子ども達は遊ぶ中で、物の性質に気が付きます。「その葉っぱはつぶしにくくて色が出にくいけど、こっちは葉っぱはやわらかくてつぶしやすいよ!」と、保育者に伝えていました。体験からの学びは、机上での学びに勝ると感じた瞬間でした。

保育の基本となる「環境を通して行う教育および保育」が保障されることが、子ども達の健やかな育ちを保障することにつながります。羽茂こども園では、これからも、子ども達の姿から今の子ども達にふさわしい環境とは何か、子ども達の心が動く環境とは何かを考え、整えていきます。

*取り組み始めた「園庭改造」では、今後、保護者のみなさまのお力をお借りすることもあるかと思います。その時は改めてお願いさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。